冬場の凍結を防ぐには

凍結が予想されるとき

◎ 商品が凍結すると、機器が破損し水漏れの原因となります。
◎ 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
◎ 周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、凍結予防を行ってください。
◎ 凍結のおそれがある場合は、次の手順に従い予防してください。

手洗器部

流動方式（水を流し続ける方法）

❶ ハンドル式水栓のハンドルを開いて、少量の水を流し続けます。
やめる場合は、ハンドルを閉じます。

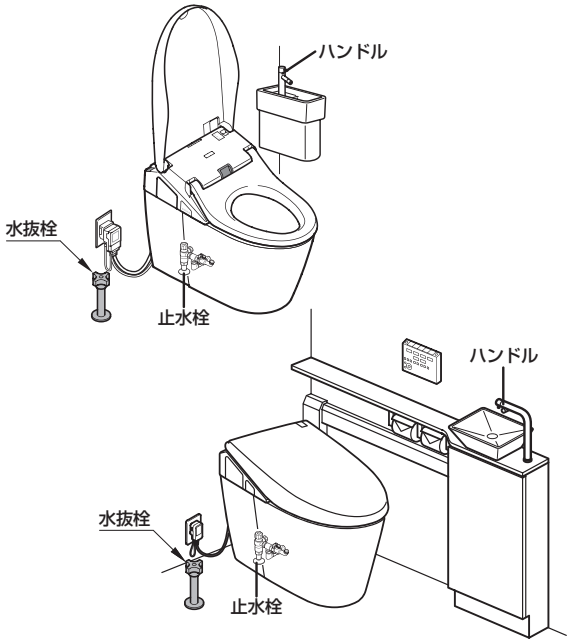
水抜き方式（水を抜く方法）

給水ホース（コーナータイプ/カウンタータイプ共通）

❶ 水抜栓を操作し、給水を止めます。
※止水栓は開けたままにしておいてください。
※水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

❷ 手洗器の水栓のハンドルを開けます。

❸ 水を抜き終わったら、水栓のハンドルを閉めます。



※長期間使用されないとき

水抜き後、手洗器排水口から不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。不凍液はそのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。手洗器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

水抜栓の取扱説明書の操作方法に従い、通水してください。
※配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。

トイレを長期間使わないとき

◎ 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。こうしておけば留守中に水漏れを起こさず、安心です。
◎ 水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因となります。また、商品が破損するおそれがありますので水抜きをしてください。
◎ 冬季に長期間不在にされる場合は、下記の方法を参考に凍結予防をしてください。

☞ 手洗器排水口より不凍液を入れてください。

手洗器給水ホースの水抜きをする

☞ 18～19ページの「水抜き方式」をご覧ください。

電源プラグを抜く

⚠ 注　意	
必ず守る	**長時間使用しないときは、電源プラグを抜く** 安全のために電源プラグを抜いておいてください。 再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因となりますので、再通水して使用してください。